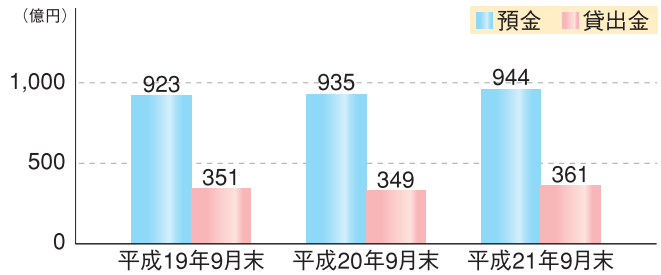


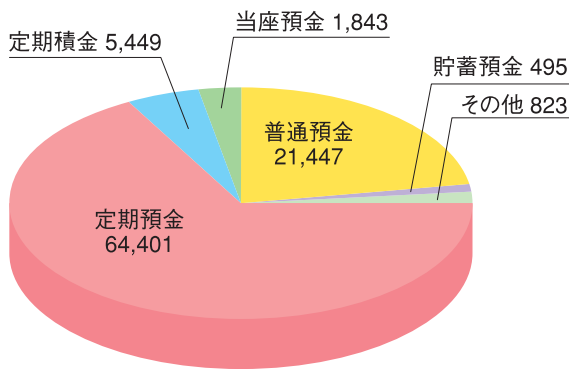
預金・貸出金の状況

預金残高は94,460百万円（前年同月比940百万円増加）、貸出金残高は36,198百万円（同1,283百万円増加）となりました。また、預貸率は、平成20年9月期より0.99ポイント上昇し38.32%となりました。



預金の状況 (単位:百万円)

預金科目別残高

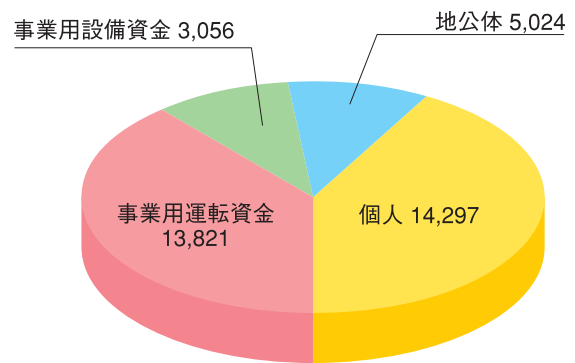


平成21年9月末 94,460

※その他(通知預金、別段預金、納税準備預金)

貸出金の状況 (単位:百万円)

使途別残高



平成21年9月末 36,198

貸出金業種別内訳 (地域への資金供給の状況)

地域のお客様の大切な預積金をお預かりし「地域経済の発展に貢献する」ために、貸出金のほとんどを地域の中小企業・個人にご融資しております。

地域の発展のために、地域金融機関として地域の皆様と「運命共同体」で地域に役立っていきたくないと取り組んでおります。

(単位:百万円、%)

業種	平成21年9月末	構成比	業種	平成21年9月末	構成比
製造業	3,195	8.82	物品賃貸業	585	1.61
農業、林業	89	0.24	学術研究、専門・技術サービス業	17	0.04
漁業	10	0.02	宿泊業	998	2.75
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	飲食業	570	1.57
建設業	7,118	19.66	生活関連サービス業、娯楽業	335	0.92
電気・ガス・熱供給・水道業	139	0.38	教育、学習支援業	—	—
情報通信業	44	0.12	医療、福祉	444	1.22
運輸業、郵便業	404	1.11	その他のサービス	324	0.89
卸売業	258	0.71	小計	16,877	46.62
小売業	1,533	4.23	地方公共団体	5,024	13.87
金融業、保険業	667	1.84	個人(住宅・消費・納税資金等)	14,297	39.49
不動産業	139	0.38	合計	36,198	100

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。なお、日本標準産業分類の改定に伴い、平成21年9月末より改定後の日本標準産業分類に準じて区分しております。